

- 教材紹介
- 1) 動物マンション～どこに住んでいるのかな？
  - 2) くるまでゴー！～目的地に辿り着けるかな？

狙い・ターゲット：

- 1) 平面の位置関係を理解する～上、下、左、右
- 2) 平面の地図上での位置関係を理解する。  
図形空間の分化を高める。何番目の数え方。〇〇個進む、の数え方

写真①



写真②



使用教材

- 1) 動物絵カード。上・下・左・右 と書いた紙 (写真①)。
- 2) マスが書かれた道路地図。車。(写真②は学研ステイフル「カードでピピッと はじめてのプログラミングカー」を使用。)

内容

- ・位置を表す色々な表現です。  
自分がいる場所や教材の置き方、状況で位置を表す言い方が変わるのを楽しみながら遊びましょう。
- 1) 動物マンション。マンションは地面に対し垂直に建てられていたら、上・下は分かりやすいですが、平面にプリントやカードを置いて、上・下となると空間の把握が難しくなりますね。  
ここでは動物カードを床に縦横4×3に並べて、動物たちが住むマンションということにしてみました。「上から二番目、左から二番目のお部屋に住んでいる子は誰？」という聞き方で上下左右の位置を学びましょう。マンションだったら「3階の～」という聞き方だと間違えにくいですが、ここでは平面に書かれた上・下の位置の把握なので「上から」「下から」の聞き方もして下さい。
  - 2) さて、今度は車が走るときはどうでしょう。平面の道路マットを床いっぱいにはらげて遊ぶお子さんも多いと思います。1)の教材、「動物マンション」の動物たちが地図のおもちゃでは行き先が変わります。しかし、車を運転するときは、「前に進む」「後に行く」という言い方が自然ですね。そんな言い方も遊びながら覚えられる教材です！  
写真②では、スタート位置を決めます。そして「前に2個進むとどこに着く？」または「お姉ちゃんが駅にいます。どうやって迎えに行こうか？」と言って計画を立ててもらったりします。黄色い車が置いてある場所から出発すると、「前に2つ進む。左に曲がる。そしてま

	<p>た前に3個進むと駅だよ」という表現になるでしょう。</p> <p>子ども達が場所を確かめながらプログラミングをし、その後自動で車が進むので答え合わせのようになって、どの子も大変盛り上がっていました。年中さんくらいまでは大喜びです。年長さんになるとちょっと物足りない様子のお子さんもいらっしゃいました。(余談です)</p>
方法 (補足)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ご家庭では例えば、冷蔵庫 (大抵縦に3～4段ありますね) の上下左右に3本ずつドリンクなどを置いて子どもに「下から二番目、左から三番目の飲み物をママに持ってきて!」といってお手伝いしてもらおうと、立体で、場所を表す言い方の活用ができますね!</li> <li>• 上記の教材の他、舞台に見立てた紙面にオーケストラの楽器を置くようなおもちゃでは、手前の楽器、奥の楽器、または、前の列、真ん中の列、後ろの列などの表現もしますね。教材紹介2)の車では、奥に向かって「前に進む」と言う言い方をするなどとっても不思議! 色々なおもちゃで色々な表現が出来る事を楽しんでくださいね。</li> </ul>